

産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鳥取	18	15	3	61.2%	2	有	2	<p>猛暑による生育抑制、台風の襲来、販売単価の下落等、産地の努力だけでは回避できない事態も重なり、県平均の目標達成率は、61.2%となった。</p> <p>令和元年度が目標年であった各産地パワーアップ計画の達成状況及び今後の方針については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理番号1 施設野菜（小松菜、チンゲンサイ） 達成率33.3% 引き続き目標達成に向けて関係機関と連携して指導を行う ・整理番号4 施設花き（切り花ストック） 達成率332.7% 適正に事業に取り組むことにより産地の収益力の強化等が図られた ・整理番号3 果樹（西条柿） 達成率50.4% 引き続き目標達成に向けて関係機関と連携して指導を行う 	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は61.2%となっており未達成となった。</p> <p>未達要因は、野菜取組においては、暖冬影響で全国的な出荷量の増加により価格不安定となったことで、生産量を減少したこと、果樹取組では、県育成品種への転換等により、栽培面積・生産量が減少したことで販売額が伸びなかったことが原因と考える。</p> <p>達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
島根	15	12	3	100.0%	0	無	0	<p>取組全ての成果目標を達成し、県平均においても目標を達成した。適正に事業に取り組むことにより、産地の収益力の強化等が図られた。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の達成率は100.0%となっており、成果目標は達成されている。</p>
岡山	20	17	3	95.7%	0	無	0	<p>取組全ての成果目標が、達成若しくは概ね達成し、県平均においても目標を概ね達成した。適正に事業に取り組むことにより産地の収益力の強化が図られた。今後も関係機関が一体となり収益性向上に努めていく。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の達成率は95.7%となっており、成果目標は概ね達成されている。</p>

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の平 均達成率	評価対象地 区数のうち、 都道府県が 地域協議会 へ改善指導 を必要とした 地区数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、 達成率80未 満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
広島	9	8	1	0.0%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因は、水稲取組において、販売販路の確保が難しく、また、日照不足による生産量減少や、収益性の高い他品目への経営転換により作付面積が下回ったこと等が原因と考える。 今後は、目標達成に向けて安芸高田市農業再生協議会に対し、作付面積の増加、販路の開拓等について、普及指導センター等関係機関が連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の達成率は0.0%となっており、成果目標は未達成となった。 未達要因は、気象影響（日照不足）による生産量減少や、収益性の高い品目への経営転換に伴う生産減少が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
山口	10	4	6	74.2%	2	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 果樹の2つの取組において未達となった要因は、1つの取組は、隔年結果により着果が少なく高品質果実の生産が見込めないとして、資材設置しない生産者があり、取組面積が減少した。 もう1つの取組は、作付推進による未成熟園の増加と、収穫時期の気象の影響による品質低下から単価が伸びなかった。 以上のこと等が原因と考える。 成果目標が未達成となった周防大島地域農業再生協議会に対しては、引き続き目標達成に向けて、関係機関と連携して指導等を行う。</p>	<p>評価対象となる6地区について、成果目標の平均達成率は74.2%となっており、成果目標は未達成となった。 未達要因は、果樹取組において、隔年結果と一部の未取組園地による作付面積減に伴う生産量の減少や、気象影響（高温・多雨）による被害・病害発生と、栽培面積拡大に伴う未成園増加等が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
徳島	9	7	2	50.0%	1	有	1	<p>県平均は目標未達成となった。 未達となった要因は、暖冬の影響により、規格外品の圃場廃棄や、単価安のため出荷見合わせが増加し、集荷量減少となったこと等が挙げられる。 このため、未達成取組地区に対し、気候変動に適應するため、規格外品の加工仕向けの開拓や、新たな作型導入によるリスク分散などを推進し、引き続き目標達成に向けて関係機関と連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる2地区について、成果目標の平均達成率は50.0%となっており未達成となった。 未達要因は、野菜取組において、気候影響による単価安に伴う生産量の減少等が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の平 均達成率	評価対象地 区数のうち、 都道府県が 地域協議会 へ改善指導 を必要とした 地区数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、 達成率80未 満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
香川	3	2	1	20.0%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 未達となった要因は、基準年度以降、市場単価の低下や、それに伴い結球レタスからブロッコリーへの転換などが進み、栽培面積が減少したこと等が原因と思われる。 成果目標が未達成となった観音寺市地域農業再生協議会に対しては、引き続き目標達成に向けて関係機関と連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の達成率は20.0%となっており、成果目標は未達成となった。 未達要因は、栽培品目の変更による生産量の減少、気象影響による出荷量の減少等が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
愛媛	15	7	8	68.5%	3	有	3	<p>県平均達成率においては、目標未達成。 未達となった要因は、平成30年7月豪雨による被災の影響等により作付面積の拡大が伸び悩んだことに加え、高齢化による廃作者の増加により産地面積が減少していること、資材費の高騰、出荷規格の変更等により経費が嵩んだこと等が原因と思われる。 今後、目標達成に向け、関連機関と連携し、栽培指導・営農支援、独自助成支援等の活用推進等の指導を行う。</p>	<p>評価対象となる8地区について、成果目標の平均達成率は68.5%となっており未達成となった。 未達要因は、気象影響による生産量の減少及び品質低下や、平成30年7月豪雨の被災影響後の栽培面積増加が図れず生産量が伸び悩んだこと、資材費高騰、出荷規格変更に伴う経費増等が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
高知	29	28	1	22.7%	1	有	1	<p>県平均達成率が目標未達成となった。 成果目標未達成となった要因は、取組品目の一部において、全国的な需給バランスが変化したこと、天候不順や病害虫による被害など栽培管理による要因、労働力不足等が主な原因と思われる。 当該地区に対し、引き続き目標達成に向けて関係機関と連携して指導等を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の達成率は22.7%となっており、成果目標は未達成となった。 未達要因は、病気の発生による収穫量減少、需要減少による単価低下、労働力不足等が原因と考える。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

成果目標の達成率が未達成の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (H30)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
鳥取県	北栄町、倉吉市、湯梨浜町、三朝町、琴浦町	北栄町農業再生協議会、倉吉市農業再生協議会、湯梨浜町農業再生協議会、三朝町農業再生協議会、琴浦町農業再生協議会	1	施設野菜(小松菜、チンゲンサイ)	販売額の10%の増加(目標:177.7%増加)	122,260千円(H27)	339,508千円	194,678千円	33.3%	暖冬傾向で全国的に出荷量が多く単価が低かった影響もあり、成果目標達成状況が33.3%と低調となった。 省力・効率的な栽培管理方法の指導や、「食のみやこ鳥取」を担う品目として葉物野菜の販売支援を行う等、北栄町農業再生協議会等を指導する必要がある。
	八頭町、鳥取市	八頭町農業再生協議会、鳥取市農業再生協議会	3	果樹(西条柿)	販売額の10%以上の増加(目標:11.8%増加)	361,695円/10a(H28)	404,314円/10a	383,186円/10a	50.4%	品種転換等の影響から生産量が減少したことで、成果目標達成状況が50.4%と低調となった。 改善策として、個包装やあんぽ柿用の原料確保のために生産部との連携強化や、販路拡大を着実に実施する等、八頭町農業再生協議会等を指導する必要がある。
広島県	安芸高田市	安芸高田市農業再生協議会	3	水稻	販売額の10%の増加(目標:17.0%増加)	97,747円/10a(H28)	109,528円/10a	95,477円/10a	-19.2%	8月下旬の日照不足により生産量が減少したことで、目標未達成となった。 今後は技術力の向上及び販路の確保について検討するよう、協議会を指導する必要がある。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (H30)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山口県	周防大島町	周防大島地域農業再生協議会	1	柑橘	販売額の10%以上の増加(目標:18.2%増加)	24,948千円(H27)	29,484千円	27,002千円	45.3%	隔年結果により取組面積が減少し販売額が下がったこと等により、成果目標の達成率が45.3%と低調となった。 改善のため、栽培技術指導の強化を図るなど周防大島地域農業再生協議会を指導する必要がある。
	周防大島町	周防大島地域農業再生協議会	2	かんきつ類(せとみ)	販売額の10%以上の増加(目標:25.0%増加)	419,565円/10a(H26.27平均)	524,396円/10a	316,152円/10a	-98.6%	作付推進に伴う未成熟園の増加と収穫期の気象の影響による品質低下により単価が下がったこと等により、成果目標の達成率が-98.6%と低調となった。 改善のため、栽培技術指導の強化を図るなど周防大島地域農業再生協議会を指導する必要がある。
徳島県	鳴門市松茂町	松茂町地域農業再生協議会・鳴門市農業再生協議会	3	露地野菜(だいこん)	販売額の10%の増加(目標:12.0%増加)	456,635,460円(H27)	534,063,370円	415,106,400円	-53.6%	暖冬の影響による単価安から出荷を見合わせたことで生産量が下がったこと等により、成果目標が未達成となった。 気候変動によるリスク分散を図るなど、松茂町、鳴門市両再生協議会を指導する必要がある。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (H30)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
香川県	観音寺市豊南	観音寺市地域農業再生協議会	1	レタス	販売額の10%の増加(目標:10.9%増加)	703,813円/10a(H27)	780,499円/10a	719,178円/10a	20.0%	達成状況が20.0%と低調であること、改善策については、生産振興・販売強化などの総合的な面での営農振興を図ることや、各種新型コロナウイルス対策を実施し、産地の生産力の立て直しを図り、販売力の強化のため、今までよりも早い時期からの販売交渉等を実施するなどが挙げられている。それらの改善策を着実に実行するため、観音寺市地域農業再生協議会を指導・助言する必要がある。
愛媛県	今治市陸地区、関前地区	今治市農業再生協議会	1	果樹(かんきつ)	集出荷コストの10%以上の削減(目標:11.0%削減)	135,859千円(H27)	120,872千円	141,733千円	-39.2%	資材の高騰や規格の変更などにより、目標達成に至らなかった。 今後は、関係機関が一体となり、コスト削減に向けて効率的な運営管理ができるよう見直しを進める必要がある。
	周桑地区(周桑農業協同組合管内)	周桑地区農業再生協議会	2	施設野菜(キュウリ)	販売額の10%の増加(目標:10.3%増加)	180,972千円(H28)	199,597千円	156,926千円	-129.1%	高齢化による廃作者の増加で栽培面積が減少したことにより目標達成に至らなかった。 今後は、関係機関と連携して、JA独自の助成制度の活用による生産拡大の推進のほか、栽培管理の徹底など生産性向上につながる指導を行う必要がある。
	野村・城川地区	西予市農業再生協議会	1	野菜(ネギ)	販売額の10%の増加(目標:92.0%増加)	92,362,335円(H28)	177,300,000円	133,305,829円	48.2%	平成30年7月豪雨による被災の影響等により作付面積の拡大が伸び悩んだことから目標達成に至らなかった。 今後は、関係機関が連携し、作付推進や栽培管理指導を行う必要がある。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (H30)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
高知県	香美市	香美市地域農業再生協議会	2	野菜(有機野菜)	販売額の10%以上の増加 (目標:11.8%削減)	221,636千円 (H28)	247,767千円	227,582千円	22.7%	全国的な需給バランスが平成28年度と異なってきたことや天候不順や病害虫による被害、労働力不足等により目標達成できなかった。 今後は、関係機関が連携し、講習会や現地検討会による薬剤防除方法の指導、労働力確保に向けた支援を行う必要がある。